

新たな方策について(中央協議会)

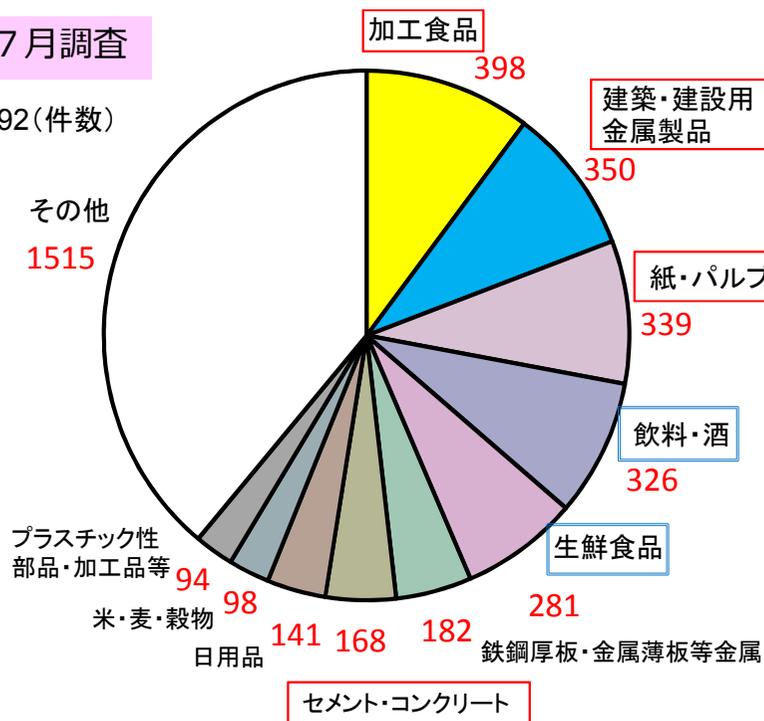
- 平成29年7月に実施した荷待ち時間実態調査において、30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多い品目（加工食品、建設資材、紙・パルプ）について懇談会を立ち上げて、課題整理や改善策について検討を行っているところ。
- 平成30年11月に実施した荷待ち時間の実態調査では、すでに懇談会を立ち上げている加工食品、建設資材、紙・パルプの各品目については、依然として30分以上の荷待ち時間が生じた件数が多いことから、引き続き課題解決のための方策について検討・検証を実施する。
- また、上記2度の調査において、荷待ち時間が生じた件数が多かった「生鮮食品」及び「飲料、酒」について、次年度以降の「新たな方策」として懇談会を立ち上げ、課題整理や改善策の検討を実施することとしたい。

30分以上の荷待ち時間が生じた件数(輸送品目別)

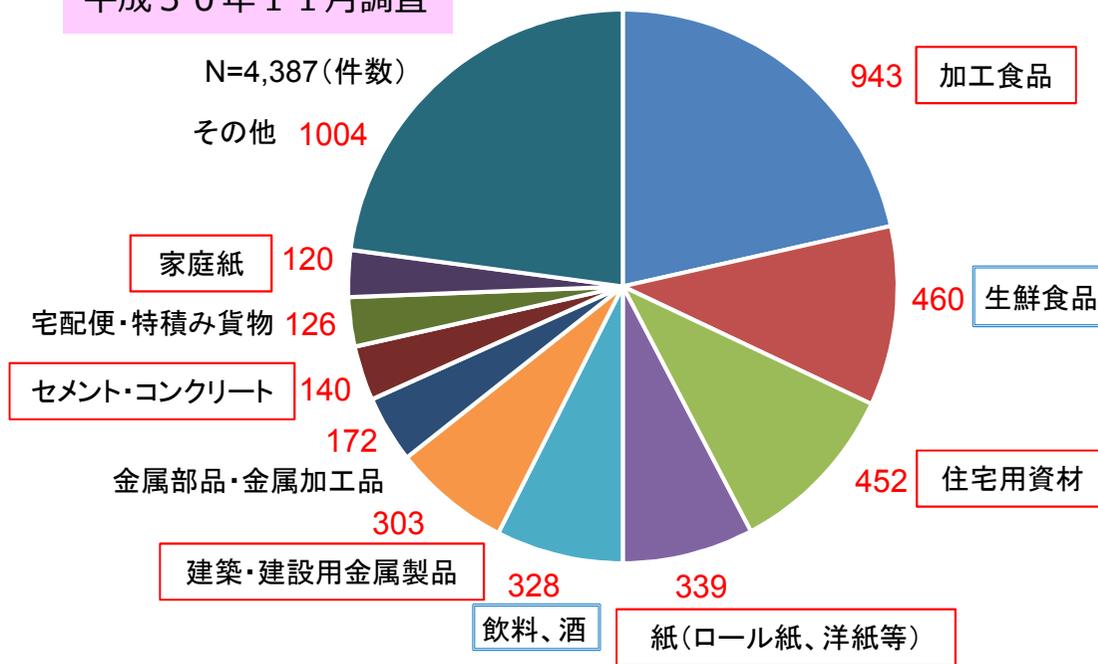
は、既に懇談会を設置している品目
 は、今後懇談会設置を検討する品目

平成29年7月調査

N=3,892(件数)

**平成30年11月調査**

N=4,387(件数)



「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」 令和元年度 輸送品目別検討テーマ及びアドバンス事業

資料 1

○47都道府県の地方協議会における検討テーマ及びアドバンス事業の実施品目が決定。(一部調整中)

○地方協議会における検討テーマの荷種の内訳は、加工食品24件、紙・パルプ17件、建設資材11件となっている。

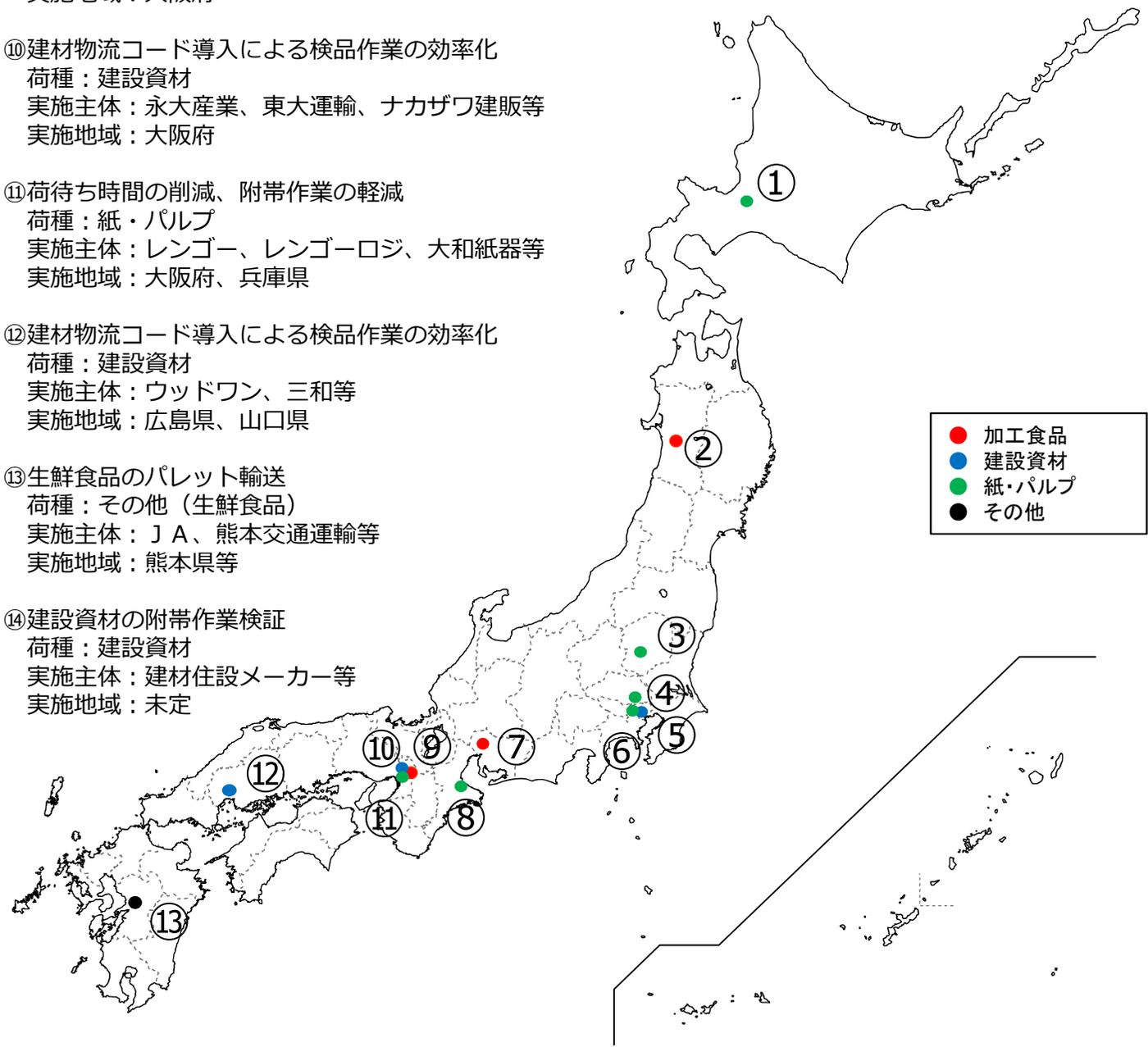
協議会	検討テーマ	アドバンス事業
北海道	紙・パルプ	紙・パルプ(段ボール)
青森	紙・パルプ	
岩手	加工食品	
宮城	紙・パルプ	
秋田	加工食品	加工食品
山形	加工食品	
福島	建設資材	
茨城	建設資材	
栃木	紙・パルプ	紙・パルプ(段ボール)
群馬	加工食品	
埼玉	紙・パルプ	
千葉	建設資材	
東京	紙・パルプ	紙・パルプ(洋紙・板紙)
神奈川	加工食品	
山梨	加工食品	
新潟	加工食品	
長野	加工食品、紙・パルプ、 建設資材	
富山	建設資材	
石川	加工食品	
愛知	加工食品	加工食品
静岡	紙・パルプ	
岐阜	加工食品、紙・パルプ、 建設資材	
三重	紙・パルプ	紙・パルプ(家庭紙)
福井	加工食品、紙・パルプ、 建設資材	

協議会	検討テーマ	アドバンス事業
大阪	加工食品 紙・パルプ 建設資材	加工食品 紙・パルプ 建設資材
京都		
兵庫		
滋賀		
奈良		
和歌山		
広島	建設資材	建設資材
鳥取	建設資材	
島根	加工食品	
岡山	紙・パルプ	
山口	加工食品、建設資材	
徳島	紙・パルプ	
香川	紙・パルプ	
愛媛	加工食品、紙・パルプ	
高知	加工食品	
福岡	加工食品	
佐賀	加工食品	
長崎	加工食品	
熊本	紙・パルプ	農産物
大分	加工食品	
宮崎	加工食品	
鹿児島	加工食品	
沖縄	加工食品	

実証実験(アドバンス事業)一覧(令和元年11月14日時点 14件)

- ①荷待ち時間の削減等
荷種：紙・パルプ（段ボール）
実施主体：段ボールメーカー、物流事業者等
実施地域：北海道
- ②調整中
荷種：加工食品
実施主体：加工食品事業者、物流事業者等
実施地域：秋田県等
- ③生産計画の共有化による少量多頻度納入の効率化
荷種：紙・パルプ（段ボール）
実施主体：MIZKAN、レンゴー、レンゴーロジ等
実施地域：栃木県
- ④トイレットペーパーのパレット輸送
荷種：紙・パルプ（家庭紙）
実施主体：日本製紙クレシア、家庭紙卸等
実施地域：埼玉県、神奈川県
- ⑤段取りアプリ×動態管理アプリの効果検証
荷種：建設資材
実施主体：建設業者等
実施地域：首都圏で調整中
- ⑥洋紙代理店による印刷工場への共同配送
荷種：紙・パルプ（洋紙）
実施主体：洋紙代理店、印刷事業者等
実施地域：首都圏で調整中
- ⑦輸送容器の返却の効率化、直納ルートの再編
荷種：加工食品
実施主体：加工食品事業者、物流事業者等
実施地域：愛知県
- ⑧家庭紙専用パレット輸送の検証
荷種：紙・パルプ（家庭紙）
実施主体：家庭紙卸、物流事業者等
実施地域：愛知県、三重県

- ⑨食品卸による予約受付システムの効果検証
荷種：加工食品
実施主体：加藤産業等
実施地域：大阪府
- ⑩建材物流コード導入による検品作業の効率化
荷種：建設資材
実施主体：永大産業、東大運輸、ナカザワ建販等
実施地域：大阪府
- ⑪荷待ち時間の削減、附带作業の軽減
荷種：紙・パルプ
実施主体：レンゴー、レンゴーロジ、大和紙器等
実施地域：大阪府、兵庫県
- ⑫建材物流コード導入による検品作業の効率化
荷種：建設資材
実施主体：ウッドワン、三和等
実施地域：広島県、山口県
- ⑬生鮮食品のパレット輸送
荷種：その他（生鮮食品）
実施主体：JA、熊本交通運輸等
実施地域：熊本県等
- ⑭建設資材の附带作業検証
荷種：建設資材
実施主体：建材住設メーカー等
実施地域：未定



- 加工食品
- 建設資材
- 紙・パルプ
- その他

今年度の中央懇談会(紙・パルプ)の進め方(案)

1. 今年度のアウトプットのイメージ

- ドライバー不足が深刻化する中、国民生活や産業活動を支える物流機能が滞ることのないよう、懇談会での議論や実証実験等の結果を踏まえ、紙・パルプ分野のサプライチェーン全体での物流改善に向けた取組を促進していくため、取組メニュー例、検討にあたっての手順・留意事項、参考となる取組事例等をまとめた『紙・パルプ分野における「ホワイト物流」推進ガイドライン』（仮称）を作成。
 - ➡ 本ガイドラインについては、「ホワイト物流」推進運動とも連動して、紙・パルプの製造、卸売、小売、物流等のサプライチェーンの関係者に広く周知。
 - 本ガイドラインを活用して、来年に迫る東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の対応を含め、荷主と運送事業者の協力による物流効率化のための取組の検討・実施を要請。

2. 検討の進め方

● 第1回懇談会（令和元年6月25日）

- これまでの議論等を踏まえた現状・課題の整理
- 今年度の進め方について

● 第2回懇談会（令和元年秋ごろ）

- 実証実験等の実施状況の報告・共有

● 第3回懇談会（令和2年2月ごろ）

- 実証実験等の結果の報告
- ガイドライン（案）の提示

ガイドラインの策定

令和元年7月～

課題の内容に応じて、以下を実施

実証実験

課題解決に資すると考えられる取組みを試行的に実施し、効果等を検証する

実態調査

課題の発生箇所・発生件数等の実態を調査し、課題の「見える化」を図る

ヒアリング・アンケート

先進的な取組みを行っている事業者等からのヒアリングや、消費者等に対するモニター調査等を行い、取組みに当たってのポイントや課題等を把握する

反映

1. 次回以降の宮城県地方協議会

- 事務局内で対象輸送分野（紙・パルプ）について検討し、その結果を次回以降の協議会で報告。
➡ 対象輸送分野にかかわる数者へのヒアリング等の実施を検討中
- 紙・パルプ以外の分野を含めた中央で開催している対象輸送分野（建設資材、加工食品）ごとの懇談会における検討結果について、報告。
- 前回協議会で紹介した「取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン」のほか、「ホワイト物流」推進運動への参画、貨物自動車運送事業法等の改正について、更なる周知を図る。



- 次年度以降も引き続き取引環境、長時間労働の改善等に向けた取り組みを継続していく。

例) 輸送品目ごとの課題解決に向けた必要な体制を整えるため、現在協議会への参加していない関係省庁や業界団体等への参加について検討する。

- 令和5年度末で一区切りとなる予定だが、そこで終了ではなく、引き続き運送事業者と荷主企業の意見交換の場として継続して開催していきたい。